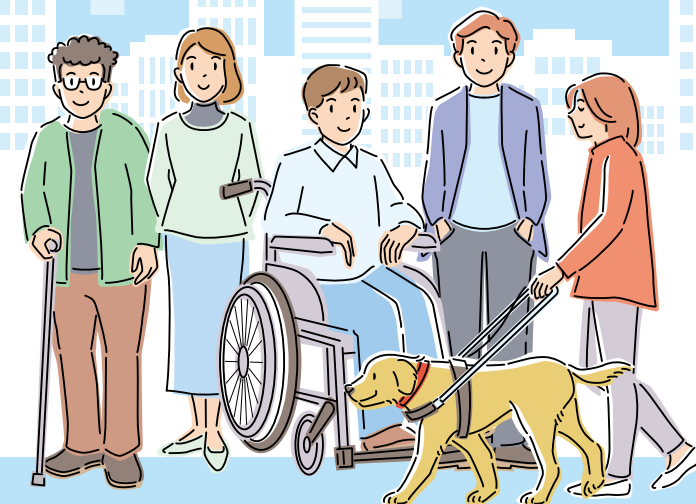


学生相談センター 障害学生支援室

Support Office for Students with Disabilities

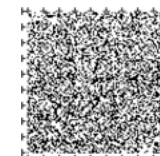
すべての学生が
公平・平等に学ぶ機会の
実現を目指して



こちらの二次元コードは音声コードです。専用アプリ
「Uni-Voice」で読み取ることで音声読み上げができます。
中面の左下、右下にも音声コードを貼付しております。

「Uni-Voice」の使い方

- ①アプリ「Uni-Voice」をダウンロードしてください。
- ②アプリを起動してスキャンを選択し、二次元コードにかざしてください。テキスト表示及び音声読み上げが始まります。



音声コード (Uni-Voice)

所在地

長野県松本市旭 3-1-1

信州大学松本キャンパス共通教育第一講義棟南校舎
1 階学生相談センター内



来室の際に支援が必要な方は、以下のお問い合わせ先
までご連絡ください。

お問い合わせ先

電話：0263-37-3165 窓口対応時間 8：30～17：15 土日祝日休み

メール：nandemo@shinshu-u.ac.jp

H P：https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_
life/soudan/consultation/

ホームページに信州大学
アクセシビリティ・マップを
掲載しています。



障害学生支援室とは

障害学生支援室では、障害のある学生の修学に関する相談に応じ、他の学生と平等に学ぶ機会を保證するために必要な修学上の配慮（合理的配慮）や支援の調整を行います。

支援の対象となる方

- ・信州大学にて教育・研究に参加する学生
- ・視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、発達障害、精神障害などの障害により修学上の困難がある学生

障害学生支援室の役割

- ・障害のある学生の修学や大学生活を送る上での支援ニーズの確認とコーディネート
- ・合理的配慮の申請から内容検討、配慮提供依頼までの取りまとめ
- ・障害学生の就労支援
- ・支援に関連する関係者との連携調整
- ・支援物品等の貸し出し
- ・学内アクセシビリティ・マップの作成
- ・ピアサポーターの養成
- ・障害学生支援のノウハウや情報の蓄積



合理的配慮とは…

合理的配慮とは、障害等の理由によって修学上や大学生活での困難がある学生に対し、その障壁（バリア）となっているものを除去したり、代替手段や支援を提供することによって、**学生が得られる学びの機会を保证するための変更・調整**です。単位取得や卒業、症状の改善などを保証するものではありません。また、教育の本質や評価基準を変えてしまうこと、他の学生に教育上、多大な影響を及ぼすような教育スケジュールの変更を求めるものではありません。

合理的配慮の例

ノートテイクなどの情報保障、視覚資料の提供、体育や実技授業での代替、途中退席の許可、別室受験、座席指定、板書撮影の許可など

合理的配慮が提供されるまで

①まずはご相談ください

修学上の困りごとを相談したい方は、学生相談センター、総合健康安全センター等に面談の申し込みをしてください。学生の保護者の方や学生と関係する教職員の方の相談も可能です。

②合理的配慮の申し出

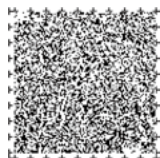
合理的配慮を学生が希望した場合は、障害学生支援室に申請書を提出します。その際、適切な合理的配慮の内容や支援を検討するために根拠資料（障害者手帳、診断書、各種検査結果、高校までの配慮内容等）も提出していただきます。

③合理的配慮の検討、決定

関係教職員（コアチーム）で合理的配慮の内容を審議し、学生相談センター長の承認、学部長の確認を経て内容が決定します。その内容について申請者の学生と合意形成ができたところで正式決定となります。

④合理的配慮の提供

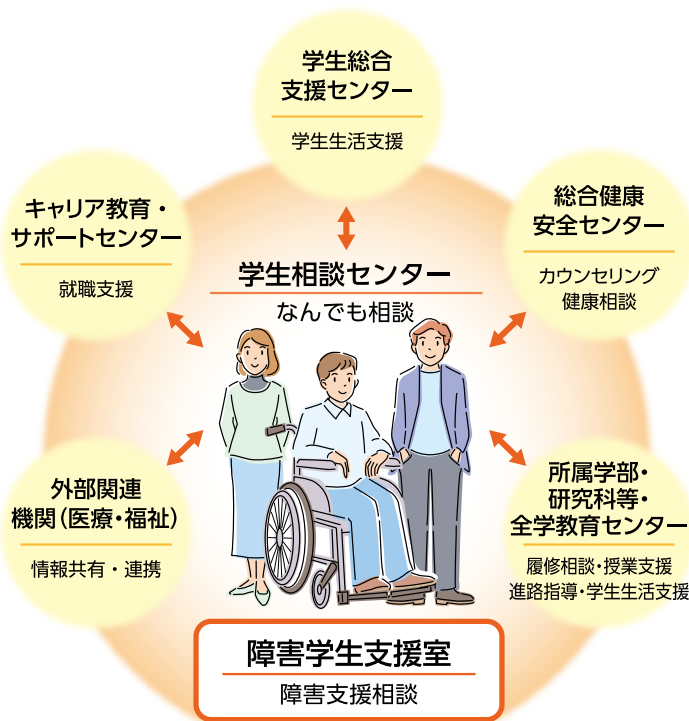
合理的配慮の内容が書かれた文書を学生から授業担当の教員に渡します。半期に一度面談をし、合理的配慮の内容を見直します。



音声コード (Uni-Voice)

支援体制

障害学生に対する支援は、関係者、関係部局が相互に協力して行っています。



就職支援

障害学生支援室では、障害のある学生への就職支援を学内の関係部署や学外の就労支援機関・企業と連携しながら行っています。

就職支援の例

- ・就職活動や働き方など就職に関する個別相談
- ・就職に関するワークショップ（コミュニケーション、仕事の選び方など）
- ・障害学生向けの求人やインターンシップなどの情報提供
- ・学内や企業での就労体験 など

ピアサポーターの活動

障害学生支援室では、障害の有無に関わらず全ての人がより良い大学生活を送るために必要な支援活動を行うピアサポーターを募集しています。

活動例

- ・授業や式典での情報保障
- ・映像資料への字幕挿入
- ・代筆対応
- ・アクセシビリティ・マップの作成、バリア調査など

ピアサポートに必要なスキルは、各種養成講座で学ぶことができます。興味のある方は、障害学生支援室までお問い合わせください。



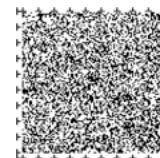
◀車いす移動助助講習会の様子



ノートテイク養成講座の様子



▲式典情報保障の支援



音声コード (Uni-Voice)